

市共闘 ひらかた

発行・自治労枚方市共闘労働組合
連絡先・枚方市岡東町8-34(枚方市職員会館内)
TEL 072-845-3361 FAX 072-845-3362

2011年4月20日(水)
No.608 (部内資料)

第17回統一自治体選挙

激戦の枚方市議会議員選挙

自治労運動を切り拓こう

公共サービスの充実を

保つては、地方自治体の公務員の責務の大きさが

再び認識されるところであるが、一方で公務員バッシングが続いていることも事実である。
公務員、そして公務職場にとつて厳しい状況が続く中で行われる選挙であるが、政治の場においても、自治労運動を切り拓く道を閉ざすことのないよう、自治労、そして市共闘の推薦する候補者全ての当選を願いたい。

なお、今回の選挙において自治労・市共闘が推薦を行っている近隣の候補は次の通り。

- ・ 島弘一(四條市議会)
- ・ 和二春夫(守口市議会)
- ・ 木津英之(門真市議会)
- ・ 濱田剛史(高槻市長)
- ・ 中浜実(高槻市議会)
- ・ 中野修(豊中市議会)
- ・ 酒井弘行(豊中市議会)
- ・ 米澤修司(京田辺市議会)

市共闘に加入を

新入職員の皆さんへ

市共闘は新入職員の皆さんに市共闘(職員組合・現業労組・水道労組・病院労組・留守家庭児童会室労組)への加入を呼

かけている。

新入職員の皆さんには、これまで研修期間中に様々な機会で組合の説明を行ってきた。組合は私たちの労働条件の向上を図る上で欠くことのできない存在であるとともに、公務職場の組合として、社会的責任を果たすべく環境や平和、人権といった幅広い取り組みも積極的に推進している。

既に市共闘に加入された新入職員の皆さんもおられるが、まだ加入されていない方には、是非市共闘への加入をお勧めしたい。

ボランティア休暇に係り、東日本大震災に対処するため、人事院規則15-14の特例として、災害救助法が適用された市町村(東京都を除く)の区域内は上限を7日にするとともに、ボランティア休暇の対象となる活動地域に「東日本大震災の被災者を受け入れている地域」を追加、と拡充した規則制定が行われ、13日に施行された。
・ 枚方市は、この取扱いについて現在、検討中としている。

大塚 みつお 光央

住みたいまちへ
住み続けたいまちへ

ひたむきに頑張ります



誰もが安心・安全に暮らせるまち枚方をつくりたい。住みたいまちへ。住み続けたいまちへ。次の世代にも魅力あふれる枚方を自信を持って伝えていきたい。

長い行政での経験と地域における活動経験を活かしながら、そして、たくさんの方々と対話を大切にしながら、枚方をもっともっと魅力のあるまちへとするために、全力で頑張ります。自治労のたくさんの仲間からいただいている励ましの声を支えにして、限られた選挙期間ではありますが、ひたむきひたすら最後の最後まで走り続けます。

第17回統一自治体選挙の後半戦のひとつ、枚方市議会議員選挙が17日(日)告示され、24日(日)の投票に向けて激しい戦いがスタートした。枚方市議会議員選挙は定数34議席のところ、46人が立候補する激戦となっている。

10日に開票された統一自治体選挙の前半戦では、非常に厳しい結果となったが、自治労としては、生活に直結する公務職場を担う立場として、地域住民の生活を支える公共サービスを充実させるためにも、自治労の考え方を共有できる首長・議員を増やしていくことは重要であると考えている。

今回の選挙では、各地で自治労運動を議会の場で積極的に推進するべく、厳しい選挙戦に臨んでいる候補者が多くいる。今回の東日本大震災に